

製品名: ERK1/2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe83771**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.39mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 43,41 kDa ; Observed MW: 42,44 kDa

抗原情報

遺伝子名	ERK1/2
別名	ERK-1, Insulin-stimulated MAP2 kinase, MAP kinase 1, MAPK 1, p44-ERK1, ERT2, p44-MAPK, ERK-1,;ERK1/2
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P27361/P28482
免疫原	ヒト ERK1 由来の合成ペプチド

背景

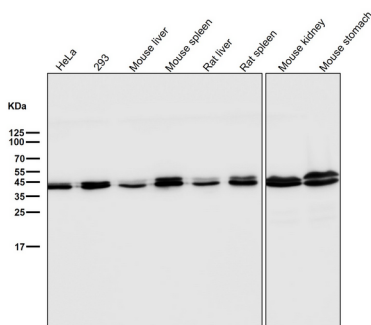
セリン/スレオニンキナーゼは、MAP キナーゼシグナル伝達経路の必須構成要素として機能します。MAPK1/ERK2 と MAPK3/ERK1 は、MAPK/ERK カスケードにおいて重要な役割を果たす 2 つの MAPK です。これらは、活性化 KIT および KITLG/SCF によって開始されるシグナル伝達カスケードにも関与します。細胞の状況に応じて、MAPK/ERK カスケードは転写、翻訳、細胞骨格の再編成を制御することにより、細胞の成長、接着、生存、分化など、多様な生物学的機能を媒介します。

研究分野

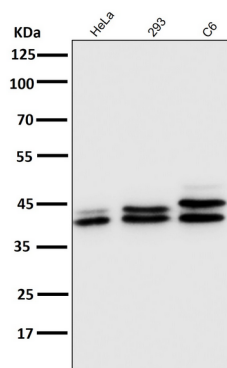
-

画像データ

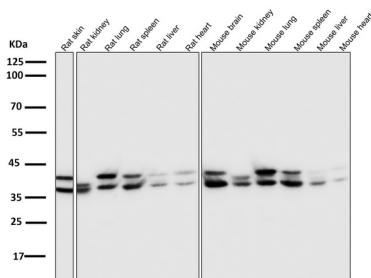
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



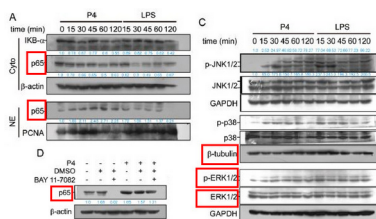
すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。

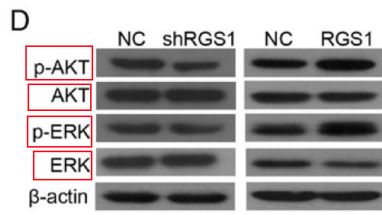


すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。

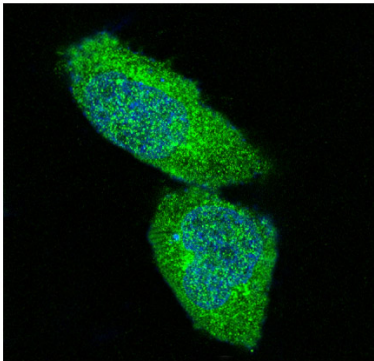


Nostoc commune Vaucher 由来の多糖類は、NF- κ B および AKT/JNK1/2 経路を介してマクロファージを活性化し、体内で大腸癌の増殖を抑制する。-食品と機能





RGS1 を介した AKT および ERK のリン酸化を介したメラノーマの進行促進において、G α の非 GAP 機能が重要な役割を果たしている。-Oncology Reports



ERK1/2 抗体を使用した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。